

## 平成28年度事業計画書

自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日  
(一社)横浜市工業会連合会

世界経済のけん引役を担ってきた中国経済の減速、石油価格の暴落による産油国経済の悪化、米国金利引き上げによる新興国からの資本流出、金融市場の混乱と世界経済は、先行き不透明感が増してきています。

堅調に景気回復に向かっていた我が国の経済も、中小企業がその恩恵を受ける前に、製造業を中心とした輸出産業に負の影響が出始めており、景況感は悪化しつつあり設備投資や賃上げによる国内消費需要喚起に慎重を期す企業も出始めています。

一方、企業の国内回帰や震災復興需要、少子化等に伴い、人材不足は深刻化しており、とりわけ中小製造業については、28年度も引き続き厳しい年であると予想されます。

企業経営リーダーにおいては、今後の景気動向に注視しつつ、社員の満足度向上と併せて、生産性の向上、収益力の強化を進めていかなければならず、難しい舵取りを求められています。

横浜市工業会連合会としては、こうした企業環境を鑑み本年度も引き続き、企業経営のヒントとなる経営リーダー向けのセミナーを開催するほか、人材の確保・育成を地域工業会と連携して取り組むと共に、中小ものづくり企業のイメージ向上を図る広報PRツールやコンテンツの開発をおこなっていきます。加えて組織強化のため、地域工業会の活動を資金面でも支援するほか会員増強についても連携して取り組んでいきます。

また、青年経営者会が今年設立20周年を迎えると共に大都市青年経営者交流研究大会が横浜で開催されることから青年経営者会の活動についても積極的に支援していきます。

### 平成28年度事業

|                     |           |
|---------------------|-----------|
| I. ものづくり活性化事業       | 20,741 千円 |
| II. 産業振興施設の管理運営     | 92,711 千円 |
| III. 市工連及び地域工業会の活性化 | 7,322 千円  |
| IV. 法人運営 (法人会計)     | 8,249 千円  |

### I ものづくり活性化事業 《継続》 【20,741 千円】

#### 1 販路拡大事業 (12,390 千円)

県内最大級の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ」の開催、横浜、川崎での大型商談会の開催のほか受発注情報の整備・充実を図り販路拡大を促進します。

##### (1) テクニカルショウヨコハマ (横浜市負担事業)

新製品・新技術等を一堂に展示して、技術の向上とビジネスチャンスの拡大を図るた

め、(公財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により、神奈川県内最大の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2017」の開催

開催日 平成29年2月1日(水)～3日(金)

会場 パシフィコ横浜 展示ホール・アネックスホール

(2) 商談会等の開催(横浜市補助事業)

工業会会員企業の新事業展開や新製品開発、取引機会の拡大を図るため、(公財)神奈川産業振興センター、(公財)川崎市産業振興財団と共催し、受発注商談会を開催

① 受発注商談会 川崎会場 平成28年9月27日(火)

② 受発注商談会 横浜会場 平成29年2月1日(水)

(3) 受発注相談(横浜市補助事業)

市工連のホームページや電話等により、受発注に関する相談に応じ、情報提供や発注案件の紹介を行うなど、会員企業を中心としたネットワークの拡大、促進

(4) 横浜ネットワークプラス(受発注情報システム)の運営(横浜市補助事業)

ネットワークプラスを活用した発注案件に対する企業紹介等、企業のビジネスチャンスの拡大、促進

※ ネットワークプラス

市工連ホームページを活用し、事業内容・製造能力・技術等に関する登録会員企業のPR及び発注企業や研究機関等が登録企業について、業種別・加工種別・キーワード別に検索・閲覧できるシステム

2 ものづくり人材育成支援事業 《充実》 【8,351千円】

ものづくり産業の担い手となる人材の育成及び確保のため、学校と企業との交流を図る事業のほか、高校生を対象としたものづくり現場の魅力を伝えていく事業の実施。

また、研修会の開催等を通し情報交換、交流の機会を提供し、入社後数年で離職することのないよう入社後のフォローアップ事業の企画実施します。

(1) 新入社員合同研修

「帆船日本丸」での甲板みがき、登檣、結索、漕艇等の訓練を取り入れた合同研修により、チャレンジ精神や協調性、連帯感などを新入社員が体験することを通して、企業の将来を託せる人材の育成

研修日程 平成28年4月7日(木)～8日(金)

研修会場 帆船日本丸、及び同訓練センター

(2) 新入社員等フォローアップ研修・交流会 《新規》

会員の意見を取り入れながら、新入社員研修受講社員をはじめ入社3年未満の社員を対象に会員各企業との同世代ネットワークの形成を支援すると共に企業に愛着を感じ長く会社の戦力として活躍してくれる人材の育成

(3) 就職に関する懇談会等の開催(横浜市補助事業)

工業系高等学校、総合高校等の関係者と企業の採用担当者等とを対象に、公共職業安定所との共催で企業の採用情報、高校生等の就職状況等を情報交換する懇談会を開催

日 時 平成 28 年 6 月 16 日 (木) 14:00～(予定)  
会 場 神奈川県中小企業センター

(4) ものづくりの魅力を伝える事業 (横浜市補助事業) 《充実》

①出前講座の開催

経営者や、技術者が学校に出向き中小企業の概略や重要性を話し、中小企業についての理解を深め、魅力を伝える講座の開催

②工場見学会の開催

中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者確保を図るため、就職指導教員と高校生や職業訓練生等を対象に、横浜市との連携のもとに市内企業の工場見学会を開催

③ものづくり企業紹介フェアの開催(テクニカルショウヨコハマの見学会)

高校生を対象に、ものづくり現場の魅力を伝えるため、ものづくり企業についての研修会及びテクニカルショウ見学会を開催

④ものづくり就労支援 《新規》

中小ものづくり企業のイメージ向上を図るPRツールやコンテンツの開発、ものづくり企業への勧誘及び魅力発信、学校と連携し第2新卒者の掘り起こし等、多岐にわたる就労支援策の企画、実施

II 産業振興施設の管理運営 《継続》 【92,711千円】

1 鳥浜・試作型貸スペース (T<sup>3</sup>) 事業 【13,075千円】

(1) 鳥浜トライ&トライアルステージの運営を実施し新製品の開発や新規事業分野への参入を図る中小製造業を支援

(2) 引き続き安定運営を図ると共に、建設時の借入金返済準備金として一定額を積立

・所在地：横浜市金沢区鳥浜町16-6

・施設内容：試作用賃貸スペース 約80～約120㎡ 全5区画

(付属事務室 約25㎡～約28㎡) (現在：全5区画入居)

2 横浜産貿ホールマリネリアの管理・運営事業 【79,636千円】

(1) 横浜産貿ホールマリネリアの管理・運営を行い、産業と貿易に関する見本市、展示会など、関連分野の企業・団体等に開催の場を提供し、神奈川県・横浜市内の産業の発展を支援

・所在地：横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル1・2F

・施設：展示場(1F 1,630㎡)、小展示室(2F 70㎡)

(2) 施設維持管理については、稼働率アップを図るため今後、老朽化した備品類の修繕見直し刷新

III 市工連及び地域工業会活性化の取り組み 《充実》 【7,322千円】

地域工業会との密接な連携をもとに、工業団体としての力を結集して中小企業の振興を

図るため、委員会による事業運営を推進し、ホームページなどの活用を通じた情報の交流を推進します。

## 1 委員会による事業推進 《充実》

各委員会で分野別にテーマを設定し、専門的検討を行った上で事業を推進するとともに、地域工業会会員が危機意識を共有し、活動に参加できる環境の整備

[各委員会での主な検討・実施テーマ]

### ① 総務委員会

ア. 市工連の運営

イ. 地域工業会の広報誌発行、講習会の開催経費等の支援 《新規》

ウ. 会員増強を図るための募集チラシの作成 《新規》

### ② 政策委員会

ア. 横浜市との中小企業支援施策の立案検討会の設置

イ. 地域工業会要望の検討・作成

ウ. 時宜に応じた政策要望への対応

※ 施策検討プロジェクトの設置

委員会のもとに横浜市職員と市工連代表によるプロジェクトを設置し、具体的な施策について検討し素案を策定

### ③ 事業・企画委員会

ア. 会員企業へのメリットの高い経営上の情報を支援事業として提供

イ. 会員企業における「すぐれたアイディア」の応募を促し審査、顕彰

ウ. 会員企業の交流活発化

・他都市工業団体との交流及び共同事業の開催

・経営リーダーセミナーの開催及び会員間の交流拡大、他団体との連携

### ④ 広報・産学委員会

ア. 企業への情報ネットワークの構築

イ. 広報紙、ホームページ、メルマガ及び受発注ネットワークの内容の充実、会員企業PRの拡大

### ⑤ 雇用・環境委員会

ア. 中小企業への人材供給と人材育成

イ. 中小企業の環境問題及び省エネ対策の取り組み支援

ウ. 求人企業情報の周知の検討

## 2 情報発信事業 《継続》

### (1) インターネットを活用した情報提供

ホームページ、メールマガジン等を活用した効果的な情報の提供

### (2) 機関誌の発行

ホームページなどインターネットによる情報に加え、市工連の機関誌「よこはま市工連」、各種事業の案内情報紙「市工連かわらばん」を地域工業会と連携し発行

①機関誌「よこはま市工連」 年2回発行

②情報紙市工連「かわらばん」 年6回発行

3 すぐれたアイデア表彰 《継続》

工業会会員企業における、技術開発、生産性の向上、経費節減等において「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を顕彰。また、事業・企画委員会等を通して応募提案の増加を推進

4 会員の交流を深める事業 《充実》

(1) ボウリング大会の開催や、「災害共済」、「労災保険」等工業会会員企業、従事者を対象とした各種福利厚生事業の充実

また、社会的課題ともなっている環境問題、雇用問題への取り組みのほか、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、引き続き市工連独自のPL保険への加入を促進

(2) 地域工業会及び横浜青年経営者会の活動支援 《新規》

地域工業会の運営と横浜青年経営者会の通年活動のほか設立 20 周年事業、全国大会横浜開催を支援

IV 法人運営（法人会計） 《継続》

総会・理事会の開催ほか、団体運営の活動を行います。

【8,249 千円】